

# 行政視察報告書

令和 8年 3月25日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 千 田 貞 之

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 恵 風 会 行政視察
2. 視察期間 令和 8年 3月 3日 (火) ～ 3月 4日 (水)
3. 視察場所及び目的
  - ① 奈良県郡山市「豊臣兄弟！」大和郡山大河ドラマ館  
・観光振興や地域活性化の取組について
  - ② 奈良県大和郡山市紺屋町・町家再生について
  - ③ 兵庫県神戸市中央区「人と防災未来センター」  
・防災教育の重要性について

## 4. 調査内容感想等

・視察の目的

### ① 奈良県大和郡山市「豊臣兄弟！」大和郡山大河ドラマ館

NHK大河ドラマにおいて、今回、長浜市、大和郡山市、名古屋市中村区にそれぞれ大河ドラマ館が設置されるが、地域による特色、観光誘客など、状況の検証、効果を確認

### ② 奈良県大和郡山市紺屋町・町家再生について

江戸時代から続く町家の風情を残し、藍と金魚を生かしたまちづくりを検証

### ③ 兵庫県神戸市「人と防災未来センター」の視察・防災についての研修

長 浜 市 議 会

・視察の内容

① 大河ドラマ館は、大和郡山城跡内で、豊臣秀長生誕の日に開館され、豊臣家の「結束の輪」「信頼の輪」「町の輪」をテーマに地元民から、慕われていた存在を現した、やさしい展示がされていた。

会場は、狭い空間であるが、うまく回遊できるように展示されている。

大和郡山城跡の存在を大きく感じ、城跡の見学を通して、戦国の情景を思わせる風情がよいと思いました。

観光客数は少ないように思いますが、周囲の景観がすばらしくイベント会場の立地にふさわしいと思いました。

② 会場から近くの江戸時代からの町家が続く奈良町界隈の紺屋町を訪れました。紺屋町の路地伝いに観光客が訪れやすいように金魚の街をアピールするとともに、藍染めの施設を併設しくつろげる空間を再生された。

③ 阪神淡路大震災記念施設として「人と防災未来センター」が震災から7年後に建設されました。震災の記憶を風化させず、後世への課題。教訓として多くの人々に伝え、世界中で今後起こりうる大規模災害の被害の軽減と復旧・復興に貢献する施設として利用されています。防災教育の視点から、展示・体験等を通じて改めて、防災意識を向上させる機会となりました。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

① 他の施設の展示、回遊性、周辺施設との融合など学ぶべきところはあると思います。周辺施設との関連性、連携するなど、わずか、1年余りのイベントであるが、積極的に創意工夫をもって展示、観光誘客に利用できるようにしてほしい。

② 風情のある街を保存活用する進め方は、くつろげるよう、無料で拝観できるのがよいと思う。ボランティアガイドさんが施設の案内をされていて、観光客も金魚のおかげでくつろげる環境づくりをされていた。本市では、歴史遺産活用、伝統工芸など各分野ごとの魅力ある資源の発信などを通じて幅広い誘客をしてほしい。

③ 「人と防災未来センター」については、防災の大切さ、記憶の風化をさせな

い施設として見ごたえのあるものです。現在、本市の総務教育常任委員会でも  
防災のアンケート結果から、政策提案を検討しています。災害から生命、財産を  
守ることは、当たり前のことですが、実際に直面した時に、安全安心な行動が  
とれるように常時備えることが大事です。

現実にあったことの遺産を間近に見て、聞いて、感じることの経験をする  
重要性を知ることが必要であることを学びました。ぜひ、きっかけがあれば、行  
く価値があります。「備えあれば憂いなし」の気持ちを学べる重要性を知りま  
した。今回の訪問時にも愛知県の消防学校生が研修のためこられてました。



奈良町箱本館「紺屋」前



行燈金魚水槽

---

---

---

---

---

---



防災未来センター前 避難標識

---

---

---

---

---

---

---

---